



高台寺 十牛庵 × 能楽

# 五感で感じる 能の世界

能楽小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎様とのご縁があり、  
このたび能楽鑑賞と高台寺 十牛庵でのお食事をご堪能いただく一夜をご用意いたしました。

京都最古と言われる「大江能楽堂」でご覧いただく演目は、国内外で人気の「葵上」。

能楽鑑賞のあとは、高台寺 十牛庵で大倉源次郎氏による夜咄をおたのしみいただきます。

能楽ファンの方も、能楽に触れることが初めての方も、この貴重な機会にぜひ京都へ足をお運びください。



■ 日程 2023年11月24日(金)

■ 1日の流れ 16:00~17:30 大江能楽堂にて能楽鑑賞  
18:30~ 高台寺 十牛庵にてお食事

■ 料金 お一人様 ¥60,000  
(能楽鑑賞・料理・飲み物・消費税・サービス料を含む)

■ 場所 <能楽鑑賞>

大江能楽堂(京都最古の能楽堂)  
京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町646  
地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」徒歩5分  
地下鉄東西線「京都市役所前駅」徒歩4分



大江能楽堂  
アクセス

<お食事>

高台寺 十牛庵  
京都市東山区高台寺榎屋町353



高台寺 十牛庵  
アクセス

## ■ご挨拶

秋に衣更をした京都は魅力的です。  
源氏物語を題材にした能楽『葵上』を古都で楽しむ。  
時間は夕食前のひと時をご用意させて頂きました。  
会場は京都有数の能舞台でも百年以上の歴史を持つ  
趣の深い能楽堂です。初めての方にも、見巧者の方  
にも楽しんで頂ける様に番組を組ませて頂きました。

能楽鑑賞炯の会 京都公演に向けて



能楽小鼓方大倉流十六世宗家  
大倉源次郎

人間国宝(重要無形文化財保持者)にして『能から紐解く日本史』  
(扶桑社刊)の著者

協力: 一般財団法人 衆我財団

# 高台寺 十牛庵

[ご予約] 高台寺 十牛庵 Tel. 075-533-6060 月曜定休(祝日の場合は翌日に振替) 11:30~19:30

## 能楽は700年近い伝統を持つ

ユネスコ世界無形文化遺産に登録された日本の誇る舞台芸術です。

観阿弥、世阿弥が当時の様々な芸能文化を集約して

天下泰平、国土安穩、五穀豊穰を祈る『翁』から

神、男、女、狂(雑)鬼という様相を神仏の世界観からあるときは俯瞰し

また当事者として演じることで人間の本質的な世界が網羅されています。

一部の解説では能楽の魅力を演技と音楽面から解説、

二部では名作の「葵上」を鑑賞いただきます。

室町時代に京都で花開いた日本文化の清華ともいえる能楽に、

この京都の地で向き合ってくださいましたら幸いです。

### ■ 能楽「葵上」 解説

原典は紫式部作「源氏物語」。舞台は平安京華やかなりし頃、光源氏の寵愛を受けた題名に挙げられている女性 葵上は、身籠り病床に伏していることが舞台正面に広げられた唐織(出し絹)として表されます。

前場では、病に苦しむ葵上の病氣平癒を祈る巫女の呪文に引き寄せられるように、六条御息所の生霊が現れます。捨てられた身の上を嘆き、葵上に対して後妻打ちを見せ、姿を消します。

後半では、横川の行者(小聖)が比叡山より呼び出され更に強力な祈りを上げると、鬼の姿になった御息所が姿を現しますが終に祈り伏せられます。

前場は霊力の強い巫女とそれに引き寄せられた生き霊の御息所。後半は比叡山の横川の行者と鬼と化した御息所の対比。見事な舞台転換と演出に世界中の演劇ファンは魅了され、今でも海外での上演記録の上位を占めている演目です。

### ■ 出演

#### 五感で感じる能の世界 能楽鑑賞道しるべ [二曲三体から紐解く能楽の世界]

能楽案内 大江 信行  
能楽囃子の世界 大倉 源次郎

#### 能楽 葵上

シテ	六条御息所の霊	味方 玄
ツレ	巫女	深野 貴彦
脇	横川小聖	有松 遼一
脇ツレ	橘道成	岡 充
笛		森田 保美
小鼓		大倉 源次郎
大鼓		河村 大
太鼓		前川 光範
後見		片山 伸吾
〃		味方 團
地頭		大江 信行
地謡		宮本 茂樹
		大江 泰正
		大江 広祐

### ■ 大江能楽堂

大江能楽堂は能楽観世流大江家5世又三郎(後に竹雪)が1908年(明治41年)に創建し、大正8年に現在の規模に改築、戦禍を免れ更に2001年(平成13年)明治の面影をそのまま残す形で基礎部分の大改修をされ椅子席を大幅に取り入れました。

1・2階席数階席(一部椅子席)の収容人員数は約400名。自然光の入る貴重な能楽堂です。

